

一般社団法人日本エネルギー学会会誌 「日本エネルギー学会機関誌 えねるみくす」刊行・投稿規程

平成 29.1.1 制定

(総則)

第1条 本規程は、定款に定める事業“会誌の刊行”を円滑に推進するため、「日本エネルギー学会機関誌えねるみくす」の刊行及び投稿に関する事項を定める。

(目的及び名称)

第2条 エネルギーに関する科学及び技術上の発見、理論、知識ならびに重要な経験、調査・研究結果を国内外の学会、エネルギーに関心を持つ個人及び機関に広く公表し、エネルギーに関する科学と技術の普及、発展に資することを目的として、「日本エネルギー学会機関誌えねるみくす」(英文名:“Nihon Enerugii Gakkai Kikanshi / Enermix”)を刊行する。

(編集委員会)

第3条 「日本エネルギー学会機関誌えねるみくす」(以下、機関誌と略す)の編集は、第5条に定める「編集方針」にもとづいて編集委員会が行なう。

- 編集委員会は、学会会員及びエネルギー関連有識者 30 名以内をもって構成する。
- 委員長は 1 名とし、理事会の議を経て会長が委嘱する。
委員長の任期は原則 2 年とし重任及び再任を妨げない。
- 副委員長及び委員は、委員長の委嘱により定める。
副委員長及び委員の任期は原則 2 年とし重任及び再任を妨げない。
- 編集委員会は、定期的で開催し、編集方針、編集委員会企画、その他について協議する。
- 編集委員会は、その活動について、随時理事会へ報告し承認を受ける。

(刊行及び配布)

第4条 「機関誌」は、冊子体および J-STAGE (科学技術情報発信・流通統合システム)による電子ジャーナルにより刊行する。

- 学会会員には冊子体を無償で配布するほか、非会員には有償で提供する。
- 「機関誌」の目次を毎号インターネットのウェブサイト上で公開する。

(編集方針)

第5条 「機関誌」の冊子体は、原則隔月に刊行する。J-STAGE による電子ジャーナルも隔月刊行する。

- 体裁は A4 版とし、和文または英文とする。
- 「機関誌」の内容は、エネルギーに関連する科学と技術の発展に役立つ記事とし、エネルギーに関心を持つ個人及び機関の知識の交換および相互の啓発に有効なものとする。
- 記事の種類は以下に分類される。
 - Essay 随想
会員一般に有益な内容をもった意見、感想、啓蒙啓発などを簡潔に述べたもの。
 - Opinion 論壇
本学会誌にふさわしい有益な提言、論評などを述べたもの。
 - Review 総説
本会に関係のある特定の問題について、最近の進歩、将来の予想などを広範囲の資料に基づき公平な立場で論じたもの、あるいは著者の研究成果または調査結果について著者の意見を含めて論じたもの。
 - Lecture Note 講座
すでに学問的体系が確立された工学上の基礎原理、手法または技術について客観的にとりまとめ、かつ平易に記述したもの。
 - Others その他
研究グループ紹介、新技術情報、書評、エントロピー、部会(委員会)報告、その他有益と認められるもの。

(依頼原稿)

第6条 エネルギーに関する有益な情報を提供するために、編集委員会では依頼原稿として記事の執筆依頼を行うことができる。また、投稿された原稿について、編集委員会の判断により依頼原稿とみなすことができる。依頼原稿の著者は「機関誌の執筆及び投稿要領」に従い、原稿を提出する。編集委員の意見に基づき、著者は必要に応じて原稿を修正する。

- 依頼原稿の著者は日本エネルギー学会会員に限らない。
- 依頼原稿については別途「会誌依頼原稿料支払要領」に定める原稿料を著者に支払う。

(著作権)

第7条 本誌に掲載された記事の著作権は日本エネルギー学会に帰属する。

(機関誌の販売)

第8条 機関誌は単品でも販売する。料金は別途「会誌の販売価格要領」に定める。

(別刷)

第9条 別刷は有料とし、料金は別途「会誌投稿原稿別刷注文要領」に定める。

(改訂)

第10条 本規程の改訂は理事会の承認を得なければならない。

附則

本規程の実施は平成29年1月1日とする。

一般社団法人日本エネルギー学会 会誌

「日本エネルギー学会機関誌えねるみくす」の執筆及び投稿要領

平成 29.1.1 制定

(総則)

第1条 本要領は一般社団法人日本エネルギー学会 会誌「日本エネルギー学会機関誌えねるみくす」刊行・投稿規程第6条に基づき「日本エネルギー学会機関誌えねるみくす」への投稿及び書き方について定める。

(書き方)

第2条 原稿は日本語あるいは英語で記述する。総説の原稿は、原稿表紙、英文要旨、キーワード(英語)、本文、文献および図表からなる。随想、論壇、講座の原稿は、原稿表紙、本文、文献および図表からなる。

2. 原稿表紙には次の事項を書く。

(1) 記事の種類

(2) 題名：簡素なものとする。英文および和文を併記する。

(3) 氏名：連名の場合、*1, *2, ……を氏名の右肩と(4)の所属機関の前に記し、対応させる。英文および和文を併記する。

(4) 所属機関および所在地：英文および和文を併記する。

(5) 連絡先(氏名、電話番号、ファクス番号、e-mailアドレス)：英文および和文を併記する。

3. 英文要旨、キーワード

英文要旨は本文を参照せずに、そのみで論文等のその記事の内容を的確に把握できるように目的、方法および成果が含まれていなければならない。英文要旨は200語以内とする。キーワードは英文要旨の後に書く。一つのキーワード(英文)は3語以内の英語とし、事柄、物質名等の名詞とする。

4. 本文は以下の通りに書く。

(1) 形式については特に限定しない。

(2) 外国の人名、会社名などは外国つづりを原則とする。

(3) 単位はSI単位の使用を原則とする。やむをえず非SI単位を用いる場合は換算方法を示す。

(4) 術語および物質名詞は文部科学省編「学術用語集」、日本化学会編「化合物命名法」などによる。和文の場合の化合物名は原則として日本語(漢字とカタカナ)で書く。

(5) 和文の記述は簡潔で平易な口語体とし、常用漢字および現代かなづかいを用いる。

(6) 本文中の区分はポイントシステムにより明確にする。

[例] 1. ……， 1.1……， 1.2……， 1.2.1……，
1.2.2……，

それ以上に細分の必要がある場合は、

(1)……， (2)……， のようにする。これ以上の細分化は避けること。

(7) 脚注が必要な場合は、文章の段落の右肩に添字で脚注1)のように表示し、同じページの下段にまとめ、本文と区別する。

(8) 新しい行の始めは和文の場合は1文字、英文の場合は5文字あける。

(9) 数式は1行使って

$$x = \frac{a+b}{c+d} \quad (1)$$

のように書き、必ず式番号を付ける。

(10) 図表は必ず本文中で引用するものとする。初出箇所は太字で図1 (Fig. 1)、表1 (Table 1)のように明示する。

5. 表、図および写真

図表などは重複をさけ、内容を理解するのに必要なもののみ採用する。

(1) 表

表の題名および説明文などは和文か英文とする。説明文は表の上部に、脚注は表の下部に書く。

(2) 図および写真

図は十分に判読できるデータとする。図の題名および説明文などは和文か英文とし、図の下部に書く。

写真は図と同様に扱うが、最小限にとどめ、コントラストの明瞭なものを用いる。

(3) カラー表現

カラー表示の図表やカラー写真を冊子体または別刷に掲載する場合には印刷費は著者の負担とする。

6. 引用資料の取り扱い

原稿中で引用する資料については、著者が著作権保持者の許可を得る。

7. 文献：References

(1) 文献：Referencesは、本文の該当個所の右肩に1) 2)、または1)～3)のように引用の出現順に通し番号で示し、本文の末尾にまとめて記載する。[例]を参照。

(2) 外国語雑誌および特許の略号は、「Chemical Abstracts」, 「化学便覧」(改訂5版(2004)基礎編Ⅱ)に従って書くことを原則とする。日本語雑誌は正式名あるいは当該雑誌で指定している略記法に従って書く。本誌の場合は, *J. Jpn. Inst. Energy* とする。Chemical Abstractsの略記法は以下で確認できる。

<http://cassi.cas.org/search.jsp>

(3) 文献: Referencesの記載は英語で行う。下記の例に従い, 氏名(英文では姓を先にし, 名の頭文字を次に続ける), 雑誌名, 巻数(必要ならば号数), ページ(年号)の順で記載する。日本語文献等の場合には, :(コロン)で区切った後に日本語表記を併記する。Webサイト掲載の情報を引用する場合は最小限に留め, 参照日を付記する。雑誌名の英字表記はイタリック体で表記する。巻数はゴシック体で表記する。単行本の場合, 出版社名も記載する。単行本の引用ページは pp. 123-125 のように表記する。図書名, 要旨集名などの英字表記ではイタリック体は用いない。

[例]

- 1) Iwasaki, T.; Satokawa, S.; Kojima, T., *J. Jpn. Inst. Energy*, **92**, 327-336 (2013): 岩崎稔友紀, 里川重夫, 小島紀徳, *J. Jpn. Inst. Energy*, **92**, 327-336 (2013)
- 2) Maa, Q.; Wang, D.; Wu, M.; Zhao, T.; Yoneyama, Y.; Tsubaki, N.; *Fuel*, **108**, 430-438 (2013)
- 3) Bergman, T. K.; Lavine, A. S.; Incropera, F. P.; Dewitt, D. P., *Fundamentals of Heat and Mass Transfer*, 7ed, John Wiley & Sons, (2011)
- 4) Japan Institute of Energy Ed., *Biomass Handbook*, 2ed, Ohm-sha, 2009: 日本エネルギー学会編, バイオマスハンドブック, 第2版, オーム社, (2009)
- 5) Hasegawa, I., in *Biomass Process Handbook*, Society of Chemical Engineers Japan, Japan Institute of Energy, Eds., Ohm-sha, pp.164-167 (2012): 長谷川功, バイオマスプロセスハンドブック, 化学工学会, 日本エネルギー学会共編, オーム社, pp.164-167 (2012)
- 6) Aida, T.; Fujiwara, S.; Shinkai, T., *Prep. Joint 20th AIRPT - 43rd EHPRG Conf. on Science and Technology of High Pressure*, T13-O138, Jun. 26-Jul. 1, 2005, Karlsruhe, Germany
- 7) Sakanishi, K., Watanabe, Y., Mae, K., Yamamoto, K., *Prep. 8th Conference on Biomass Science*, O-601, Jan. 9-10, 2013, Higashi-Hiroshima, Japan: 坂西欣也, 渡邊裕, 前一廣, 山本幸一, 第8回バイオマス科学会議, O-601, 2013.1.9-10, 東広島
- 8) Ministry of Economy, Trade, and Industry, <http://www.enecho.meti.go.jp/topics/hakusho/2012energyhtml/2-1-3.html> (Last access: 2013.5.3): 経済産業省, <http://www.enecho.meti.go.jp/topics/hakusho/2012energyhtml/2-1-3.html> (Last access: 2013.5.3)

8. 記事の分量

記事の種類によって頁数は下記の通りとする。1ページは2,400字(随想, 論壇, 総説, 講座)とし, 刷上りで図表を含む。なお, 下記の頁数を大幅に超えた場合, 修正を求めることがある。

- | | | |
|-------------|----|--------------|
| (1) Essay | 随想 | 2ページ以内とする。 |
| (2) Opinion | 論壇 | 原則6ページ以内とする。 |
| (3) Review | 総説 | 原則6ページ以内とする。 |

(原稿提出および刊行の手順)

第3条 原稿の様式, 作成方法については以下のとおりとする。

- (1) 原稿の提出は電子データを原則とする。
- (2) 原則としてワードプロセッサを使用して原稿を作成する。本文はA4横書きとし, 1枚あたり34字×30行程度(1,000字見当)で作成する。また学会誌の出版イメージと同様の形式(2段組の本文中に図表を貼り込み)による作成も認める。
- (3) 英文の場合も同様にA4で作成する。また学会誌の出版イメージと同様の形式(2段組の本文中に図表を貼り込み)による作成も認める。なお, 本文の長さは図表等の相当スペースも含めて5,000語を目安とする。
- (4) 上記の作成が難しい場合は, 連絡先に事前に相談する。

2. 原稿提出および連絡は以下の通りとする。

- (1) 電子メールにて, 日本エネルギー学会誌制作部宛に以下の要領で送信する。
- (2) メールに, 原稿表紙, 英文要旨, キーワード, 本文, 図表, 文献の電子ファイルを添付する。
- (3) 送信先と原稿提出に関する問い合わせ先は以下の通りとする。

送信先: jie-journal@jie.or.jp

問い合わせ先

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
成蹊大学 理工学部物質生命理工学科 気付

日本エネルギー学会誌 制作部

E-mail: jie-journal@jie.or.jp

TEL : 090-1202-9239

3. 刊行の手順は以下の通りとする。

- (1) 著者（必要に応じて連絡者）は原稿作成に使用したWord, Excelファイルなどの電子データをメール添付などの方法により提出する。また編集委員会の判断により、図表および写真について追加的な電子データの提出を求めることがある。
- (2) 著者校正を1回行う。著者(必要に応じて連絡者)は校正刷りの受取後2日以内に校正して返送しなければならない。この際、印刷上の誤り以外の字句の修正や挿入は認めない。指定された期日までに返送されない場合は、編集委員会の校正により校了とする。
- (3) 機関誌発刊後、印刷上の誤りについて著者（必要に応じて連絡者）の申し出があった場合は、訂正文を掲載する。印刷上の誤り以外の訂正は、編集委員会が認めた場合に限り行う。

（改訂）

第4条 本要領の改訂は編集委員会及び総務委員会の承認を得なければならない。

附則

本要領の実施は平成29年1月1日とする。

●文字の大きさおよび出来上がり1頁当たり文字数

<総説，講座，その他（研究グループ紹介，新技術情報，部会報告など）>

文字の大きさ・・・9ポイント

文字数・・・25文字×48行×2段組=2,400字／頁（6ページフルで14,400文字）

<論文，技術論文，ノート，資料>

文字の大きさ・・・8.5ポイント

文字数・・・27文字×50行×2段組=2,700字／頁（6ページフルで16,200文字）

注記：ご執筆の際の目安として下さい。